

国産野菜の
業務対応

流通業者が需給調整

第2回・優良表彰

契約取引を定着へ

倉敷青果荷受らに大臣賞

第二回「国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰」（主催＝農水省、農畜産業振興機構）の受賞者が決定され、倉敷青果荷受組合のグループらが農水大臣賞に輝いた。この事業は、加工・業務用需要に対応した野菜の生産流通の拡大と利用増進に先進的に取り組む生産者、流通業者、実需者を表彰し、野菜の自給率向上に資するもの。力キとなるのは、業務対応に欠かせない契約取引を、生産者、実需者双方にいか定着させるか。その点で、入賞事例の半数で中間流通業者が需給調整の機能を発揮していることが注目される。

農水大臣賞を受賞した二グループの名称、構成者、活動内容は次のとおり。

▽J A みい・倉敷青果荷受組合蔬菜部・倉敷青果荷受組合洗淨野菜プロジェクト（生産者＝J A みい野菜部協議会、実需者＝倉敷青果荷受組合洗淨野菜プロジェクト）流通業者＝倉敷青果荷受組合蔬菜部

J A みい野菜部協議会が、倉敷青果荷受組合蔬菜部を通じて、倉敷青果荷受組合洗淨野菜プロジェクトにカット用野菜を供給する取り組み。三者間の取引は平成十八年の一三二トから始まり、十九年は二五七トと、二倍に達している。評価ポイントは、J A みいが同プロジェクトへの販売などにより、ホウレン草、ミズナなどの加工・業務向け出荷割合を著実に伸ばしている同プロジェクトがカット野菜（施設、一

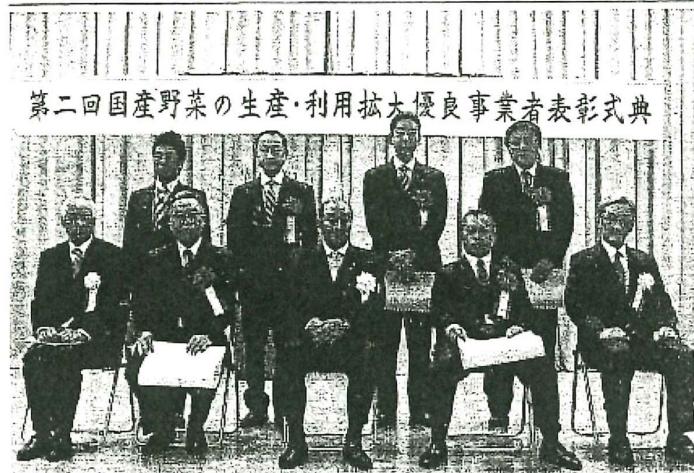
四〇〇平方メートル）の生産能力を高めている（十四年一日星九ト十九年一五ト）

▽全農いはらき県西V F S 契約取引グループ（生産者＝全農いはらき県西V F S ステーションおよびJ A 常時には他産地からの集荷

を行い、契約取引のリスクを軽減している）など。

▽全農いはらき県西V F S の契約取引の主要部分を担うレタス契約取引グループが、長期契約（十年）でM C プロデュースを通じて、サラタクラフに販売する取引組み。現在、県西V F S で扱うレタスの八割、野菜全体でも七割が契約取引で提供されている。

評価ポイントは、①県西V F S が新たな契約注文に応じて生産希望者を募集し契約対応型の産地開拓を積極的に進めることで、生産者の契約意識醸成と生産維持・拡大に寄与②M C プロデュースが産地からケースで仕入れ、サラタクラフには数量で納品することで、天候不順時に一ケースの重量が変動しやすい実需者のリスクを軽減③通いコンテナの導入によるコスト低



第二回国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰式典

農水大臣賞を受賞した2グループ（中央は近藤基彦副大臣）

減。レンタル式でコンテナ・一か月あたり二〇〇円のため、回転数が多くなればさらに安くなる。また、生産局長賞（二二グループ受賞）、農畜産業振興機構理事長賞（二二グループ受賞）の評価ポイントは、次のとおり。

▽生産局長賞①生産者と実需者、あるいは流通業者も加わり、出荷計画や生産量の変化などに関する協議会を適宜開催することで円滑な意思疎通と安定供給に努力②トレーサビリティの実施、栽培履歴の記録、農薬の適正利用などにより安全・高品質の野菜を出荷③通いコンテナなど様々な工夫でコストを削減

▽農畜産業振興機構理事長賞①生産・実需者間の情報交換や関係者が一堂に会する会議などで、消費者および実需者のニーズを把握し、生産・出荷を改善②J G A Pなどの取得、栽培履歴の記録、残留農薬検査などで、安全な野菜の出荷を促進③栽培方法に関する契約書を交わすなど、文言に基づいた明確な契約取引

を実現

なお、青果流通関係ではビックルスコアポレシヨ、三幸食品、サン・グリーン、オリエンタルフーズ（以上生産局長賞）、米川商事、東京デリカフーズ、横浜丸中青果、クリアライズ、福山青果（以上農畜産業振興機構理事長賞）なども受賞した。